

2年農業生産コースの生徒が 「最新の農業機械やスマート農業」 について学びました！

1月29日（水）、株式会社新潟クボタより川上健弘様を講師として招聘し、生物資源科2年1組の農業生産コース20名が科目「農業機械」の一環として、講話をお聞きしました。

「最新の農業機械やスマート農業」の現状について、農機メーカーの取組、スマート農業の実際についてお話いただきました。川上様は本校の卒業生で高校時代の様子を交えてお話いただき、生徒は真剣に耳を傾けていました。

今年度、本校にDX事業で乾燥機が設置されました。KSASとのシステム連携により、乾燥状況などがスマートフォンやタブレットで確認でき、これまでの労力が大幅に軽減されるなど、機械の進化に驚かされました。

今後、地域農業はスマート農業化と共に、農業者の高齢化、担い手不足などの課題解決に向けた取組が急務です。生徒は「解決のない地域農業は大変なことになる。」と感じました。とても充実した時間を過ごすことができました。

